

2019年4月11日

紛争地イエメンの兄と友人たちから、日本の弟へ届くモカコーヒー

希少なイエメンのスペシャルティコーヒー発売

～東京コーヒーフェスティバル（4月13日・14日）にタレック氏（弟）登場～



海ノ向こうコーヒー「イエメン モカオリジンズ」



Al Mogahed Tareq 株式会社Mocha Origins代表
（立命館アジア太平洋大学卒業、大分県在住）

2019年2月、イエメンに渡航しようとした日本人ジャーナリストが経由地オマーンで強制送還されるニュースが流れましたが、イエメンは今も渡航が禁止されています。アジアのスペシャルティコーヒーを扱うことで現地の社会課題の解決を目指す、海ノ向こうコーヒー（運営：株式会社坂ノ途中／京都市／代表 小野邦彦）は、内戦のため輸出量が激減しているイエメンのモカコーヒー『イエメン モカオリジンズ』の販売を、2019年4月13日より開始します。

紅海に面する、モカ港から輸出される「モカコーヒー」が有名ですが、2015年からつづく内戦で生産量は減少、コーヒー農家は収入を失いました。また輸送は戦闘地域や、閉鎖された空港を経由するためリスクを伴い、輸出量も激減しています。



イエメンでコーヒーを育てる兄と友人たち

株式会社Mocha Origins 代表を務めるAl Mogahed Tareq氏（タレック氏）はイエメン出身。内戦のはじまる1年前、2014年に大分県の立命館アジア太平洋大学留学のため来日。タレック氏の兄や友人がイエメンでコーヒーを育てており、在学中にイエメンと日本をつなぐビジネスを着想し、株式会社Mocha Originsを設立しました。

海ノ向こうコーヒーは、このMocha Origins社のコーヒーの取り扱いを2019年4月から始めます。多くの困難を乗り越えて、イエメンの兄から日本の弟のもとに届けられた希少なモカコーヒーを、国内最大級のコーヒーの祭典、東京・青山で開催される東京コーヒーフェスティバルでタレック氏のトークとともに楽しみいただけます。

株式会社Mocha Origins

<http://www.mochaorigins.com>

2人のイエメン人留学生と1人の日本人学生が創設。イエメンの「高品質」で「生産情報を辿れる」スペシャルティコーヒーの日本への輸入を主業務とする。目標はイエメンのコーヒー産業の復興、またイエメンの社会問題であるカートや政治紛争による経済悪化を解決に導くこと。そのためのミッションを、イエメンのコーヒー栽培農家が徹底した管理のもと、最高品質のコーヒー豆を生産、流通、販売することに置いている。取り扱う全ての豆は、農家の情報を記載することで完全なトレーサビリティを有する。

東京コーヒーフェスティバル

<https://tokyocoffeefestival.co/>

日時：2019年4月13日（土）・14日（日）11:00～17:00

場所：国連大学前広場（東京都渋谷区神宮前5-53-70）※Farmer's Market @UNU内

（トークショーは各日14:00-15:30。タレック氏はトーク以外の時間は海ノ向こうコーヒーのブースでコーヒーをサーブ予定）

イエメン モカ オリジズ

【生産地】 イエメン ハラズ ワディーセイル

（1,700-2,240m） 【内容量】 100g

【精製】 ナチュラル

【焙煎者】 LIGHT UP COFFEE

【品 種】 アラビカ種 ジャディ

【栽 培】 栽培期間中、農薬化学肥料不使用

【価 格】 2,000円(税抜)

【味わい】 風味は複雑かつ独特で、ワインのように芳醇な果実感とフローラルさがあります。

【購入方法】 オンラインショップ (<https://on-the-slope.com/umi/>) よりご注文ください。



会社概要・お問い合わせ

株式会社 坂ノ途中 京都市下京区西七条八幡町21番地

代表取締役：小野 邦彦 設立：2009年7月 HP：<http://www.on-the-slope.com/>

事業内容：提携生産者が栽培した農産物の販売。環境負荷の小さい農法で栽培された「海ノ向こうコーヒー」の販売。オーガニックが広がるオンラインプラットフォーム”farmO(ファーム)”運営。

お問い合わせ：広報担当 松田真弓 (TEL：075-200-9773 / MAIL：mayumi@on-the-slope.com)